

令和3年度

事業計画書

学校法人 足立学園

# 1. 法人の概要

## (1) 建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

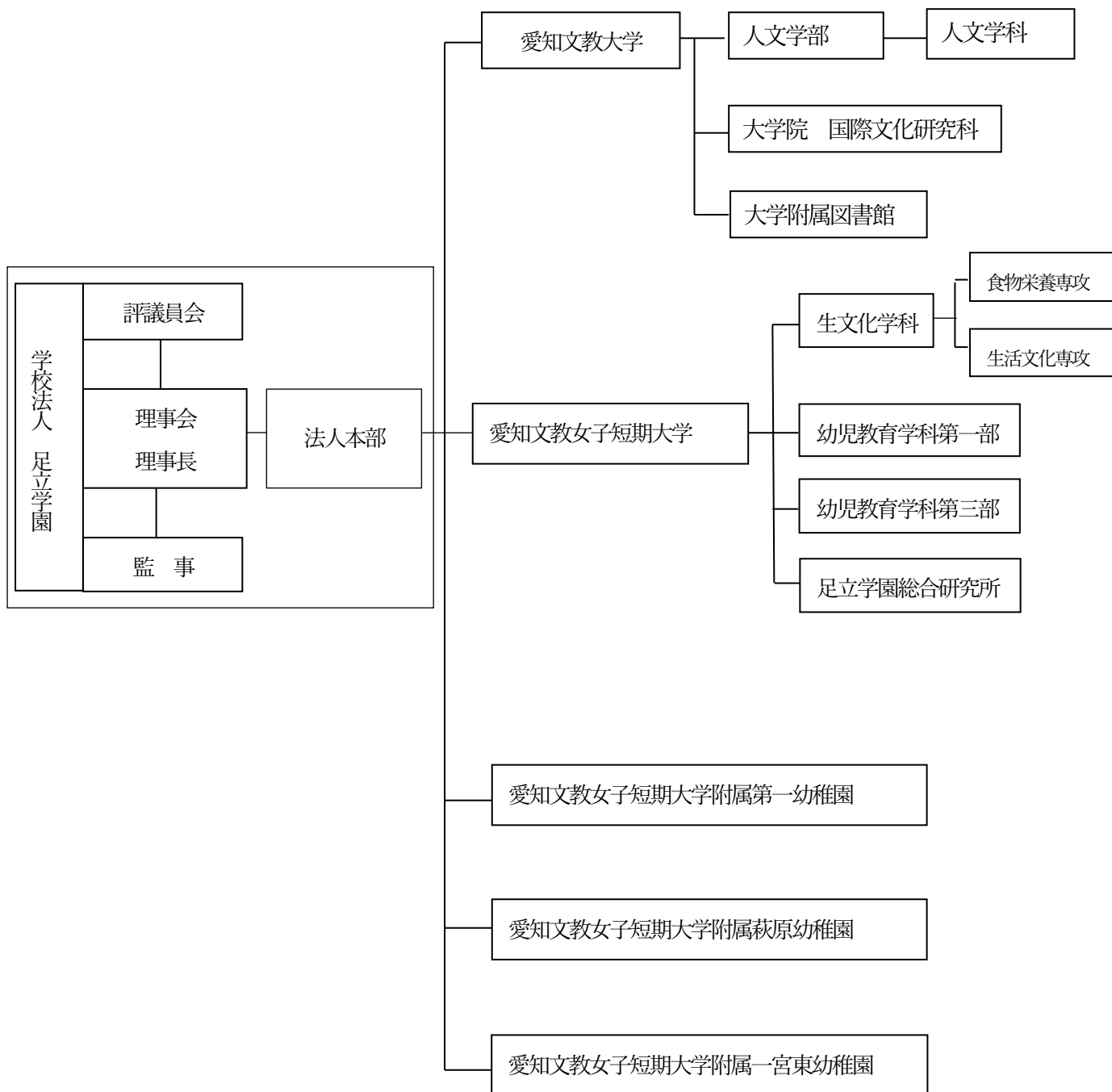
## (2) 設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学            大学院    国際文化研究科  
                                 人文学部   人文学科

愛知文教女子短期大学   生活文化学科  
                                 幼児教育学科第一部  
                                 幼児教育学科第三部

愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園  
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園  
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園

(3) 学校法人足立学園の組織図 (令和3年度)



## (4) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2021年3月1日現在

学校名	学部・学科名	収容定員	1年	2年	3年	4年	計
愛知文教大学	人文学部	470	129	124	109	75	437
	大学院修士課程	16	0	0			0
	小計	486	129	124	109	75	437
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	74	64			138
	幼児教育学科第1部	160	62	80			142
	幼児教育学科第3部	210	89	70	101		260
	小計	510	225	214	101		540
学校名		収容定員	3歳児 (満3歳含む)	4歳児	5歳児		計
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		360	120	97	113		330
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		270	95	85	72		252
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		207	68	55	55		178
計		1,833	637	575	450	75	1,737

## 2. 事業の概要

### (1) 令和3年度 愛知文教大学事業計画

#### 1. 教育研究活動

- (1) 愛知文教大学中長期計画のセカンドプロセス4年目に入る。世界史に残る大疫病であるコロナウイルス対策として、対面授業とオンライン授業が併用できるシステム構築が必要です。さらにオンライン授業においても「教育の質の保証」点からより充実する必要があります。
- (2) 令和元年度は「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果、本学は「タイプ1」を取得したが、令和2年度は不採用だった。これを踏まえ、より全体を見直し次年度は獲得できるように準備したい。
- (3) 新学部（教育学部・通信学部）増設を目指す。令和5年（2023年）4月開設を目指す。この為に2022年3月末までに申請準備を整える。
- (4) 学部、大学院のFD（ファカルティデベロップメント）活動の一つとして、全授業公開を実施する。及び全学的SD（スタッフデベロップメント [教職員研修]）を定期実施する。
- (5) 科研費の取得と研究の充実

#### 2. 交換留学生・編入生・海外提携大学科目等履修生（編入学、大学院入学等を実現するため予備履修制度）

- (1) 交換留学協定締結 ①北京外語大学 ②北京聯合大学 ③三江学院大学 ④スアン・ドゥシット大学ホアヒン校（タイ）
- (2) 大学間協定締結 ①天津職業技術師範大学 ②三江学院大学 ③南京工業職業技術学院 ④長江師範学院 ⑤廣東省外語藝術職業学院 ⑥青島職業技術学院 ⑦四川外国語大学 ⑧ Fairmont State University（ウエストバージニア州立大学）

#### 3. 教員免許更新講習会開催

- (1) 本学教職課程研究センターにて教員免許状更新講習会を実施する。  
拠点として大学内に「学び合う学び研究所」を発足し、近郊の小・中・高の教員の学び舎とする。
- (2) 今年度で2年目になる短期大学とのタイアップはより充実して実施する。

#### 4. 地域・社会活動

- (1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員の参加
- (2) 小牧市の文化財啓発事業に協力し、古文書入門講座、小牧市歴史講座、小牧市歴史基礎講座、小牧市文化財地図作成等を実施していく。
- (3) 小牧市学習チューター制度等への協力においては、小中学校の学習支援を行う。
- (4) 小牧市国際交流協会の事業への協力 「国際こども教室」、「ワールドレストラン」「スポーツ交流会」「国際交流ふれあいフェスタ」にボランティアとして学生が参加する。小牧市協働推進課とNPO法人小牧市市民活動ネットワークが開催した「こまき市民活動祭」に参加する。
- (5) 小牧市、犬山市、春日井市との連携事業を開拓する。
- (6) 羽島市との連携関係を強化する。

5. 高大連携事業

愛知啓成、大成、津島北、犬山南高等学校他 11 校と提携し、提携校奨学金制度の充実を目指す。

6. 大学入学共通テスト制度

大学入試センターの新試験制度実施と大成高等学校での大学入学共通テスト試験会場続行

7. アジア語学研修の充実（フィリピン英語研修、台湾中国語研修）

- (1) フィリピンセブ島：IDEA CEBU、台湾：台湾師範大学国語教学センター 2 週間（期間検討中）の語学学修の実施準備をする。コロナの関係で実施出来ないときは 1 年延長する。
- (2) 実施出来たとしても英語圏のフィリピンからシンガポールへの国替えを検討する。海外研修に恐怖を抱く学生のために、オンラインによるマンツーマンレッスン導入を検討する。

以 上

## (2) 令和3年度 愛知文教女子短期大学事業計画書

### 1. 2021年愛知文教女子短期大学70周年記念事業を実施

- (1) 記念式典(30分)と記念コンサート  
検討事項: 同時オープンキャンパス開催
- (2) 寄付金の募集を行う。(企業、地域、同窓生等)  
ふるさと納税形式(クレジット型募金活動)、事業団形式、その他
- (3) 70周年記念奨学金の支給を検討する。授業料全額免除。地域出身者優遇施策。

### 2. 施設・設備改修計画

- (1) トイレ改修工事
  - ① I・II号館: 4F女子トイレ(多目的トイレ)、1F男女トイレ、2F女子トイレ
  - ② III号館: (第1) 3F女子トイレ(多目的トイレ)、4F男女トイレ
- (2) 固定机・椅子の教室 → 一人一組の机(アクティブラーニングを可能にする)  
II-306、II-402の変更 見積あり(令和2年度事業計画で未実施)

### 3. 食物アレルギー認定団体設立計画

- (1) 私学研究ブランディング事業の発展型、食物アレルギー認定団体設立を目指す。
- (2) 「こどものアレルギー・食育研究会」3月18日発足、その後の活動計画。
- (3) 保育士の初任者研修パックを開発し営業する。到達度テストを在学生に実施し、資格認定試験にむけ検討する。

### 4. 2022年短期大学基準協会第三者評価(第3期認証評価)受信準備

教育改革の推進、自己点検の実施、「教育の質保証」を明確化する。

- (1) 教育改革の推進事業
  - ① 愛知文教大学に編入計画  
愛知文教大学に編入、又は提携大学に留学できないか検討する。
  - ② 愛知文教大学の教員免許更新講習会と連携  
(幼稚園教諭、栄養教諭 教員免許更新)
- (2) 自己点検・評価への組織的な取り組み(認証評価指摘事項)を行う。
  - ① 桜の聖母短期大学と相互評価を行う。
  - ② 外部評価委員会実施: 令和2年度はコロナの影響で書面のみとなった。
  - ③ 自己点検評価委員会の定期点検を実施する。
  - ④ 評議員会へのヒアリングを行う。
  - ⑤ 中長期計画の点検を行う。
- (3) 教育の質保証を明確化
  - ① 3P(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の定期的な点検
  - ② 教学マネジメント委員会において、学修の可視化、実務系教員の積極的採用を実施する。【教育:専門性向上】)
  - ③ 教員の教育力強化のため研究環境整備を行う。【研究】
  - ④ シラバス整備(認証評価指摘事項)を行う。

⑤ 入学定員適正化 1.15 未満維持(認証評価指摘事項)を保守する。

## 5. 文教おやこ園

稲沢市の委託事業(2020年4月から稲沢市役所委託事業として補助金運営)、子育て支援オンライン事業を検討する。

## 6. 足立学園総合研究所・地域連携センターの活動支援

- (1) Adachi fashion academy 春期講座・秋期講座の開講
- (2) いなざわサマーカレッジ 2021 (子どもゆめ基金申請)
- (3) キッズデザイナースクール 2021 (子どもゆめ基金申請)
- (4) 稲沢市との包括協定に関わる連携講座 (平成 25 年に締結)  
生涯学習事業、子育て支援事業、食育に関する講師派遣、地域連携事業の開催
- (5) 産学連携 (包括協定) 事業強化する。  
大学ブランディング、リカレント教育、収益性事業

## 7. 学科特色による地域貢献事業

- (1) 文教子どもフェスタの開催
- (2) みんないっしょのクリスマスの開催
- (3) 食育講座「めざせ!ちびっこシェフ」の開催
- (4) おいしい笑顔!野菜レシピコンテストの開催
- (5) 職業実践力育成プログラム(BP)による社会人教育
- (6) 高齢者福祉施設における年間行事に参加
- (7) 地域産業との協働プログラムの推進

## 8. デジタル・トランスフォーメーション (DX) の推進計画

DX が進展する社会を牽引する人材を育成するため、デジタル環境を大胆に取り入れることにより、デジタル (オンライン) とフィジカル (対面・実地) を組み合わせた post コロナ時代の高等教育における教育手法の具体化を図り、その成果の普及を図る。

(文部科学省 HP より)

### Plus-DX とは

a Plan for universities/colleges aiming for a smart-campus through Digital Transformation in the current/post COVID-19 crisis

ちなみに、デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation) は頭文字をとれば、「DT」と略されるのが素直なように感じます。英語圏では接頭辞「Trans」を省略する際に X と表記することが多いため、「Transformation」が「X」に代わり、「Digital Transformation」⇒「DX」と表記するようです。

以 上



### 3. 財務の概要

#### (1) 資金収支予算書 (令和3年度)

(単位:千円)

科 目		予算額	前年度予算額
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,162,191	1,187,809
	手数料収入	16,594	16,774
	寄付金収入	13,359	13,297
	補助金収入	303,570	429,959
	資産売却収入	0	144
	付随事業・収益事業収入	97,618	93,615
	受取利息・配当金収入	15,176	15,176
	雑収入	68,058	111,531
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	413,707	421,983
	その他の収入	540,354	507,636
	資金収入調整勘定	△ 407,903	△ 559,321
	前年度繰越支払資金	1,080,870	1,270,000
	合 計	3,303,594	3,508,603
支出の部	人件費支出	909,238	949,135
	教育研究経費支出	372,532	497,110
	管理経費支出	336,290	315,884
	借入金等利息支出	14	15
	借入金等返済支出	0	0
	施設関係支出	1,750	92,330
	設備関係支出	36,400	142,088
	資産運用支出	0	0
	その他の支出	558,020	622,408
	予備費	5,000	5,000
	資金支出調整勘定	△ 16,667	△ 196,237
	翌年度繰越支払金	1,101,017	1,080,870
	合 計	3,303,594	3,508,603

## (2) 事業活動収支予算書

(令和3年度)

(単位:千円)

科目		予算額	前年度予算額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,162,191	1,187,809
		手数料	16,594	16,774
		寄付金	13,359	13,297
		経常費等補助金	303,570	429,959
		国庫補助金	193,740	313,938
		地方公共団体補助金	109,830	116,021
		付随事業収入	97,618	93,615
		雑収入	68,058	111,531
		教育活動収入計	1,661,390	1,852,985
	事業活動支出の部	人件費	953,238	952,225
教育研究経費		528,932	654,810	
管理経費		357,520	340,364	
徴収不能額等		0	0	
教育活動支出計		1,839,690	1,947,399	
教育活動収支差額		△ 178,300	△ 94,414	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	15,176	15,176
		その他の教育活動外収入	0	0
		教育活動外収入計	15,176	15,176
	事業活動支出の部	借入金等利息	14	15
		その他の教育活動外支出	0	0
		教育活動外支出計	14	15
教育活動外収支差額		15,162	15,161	
経常収支差額		△ 163,138	△ 79,253	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	0	0
		特別収入計	0	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	130
		その他の特別支出	0	0
		特別支出計	0	130
特別収支差額		0	△ 130	
予備費		5,000	5,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 168,138	△ 84,383	
基本金組入額合計		△ 44,930	△ 241,298	
当年度収支差額		△ 213,068	△ 325,681	
前年度繰越収支差額		△ 5,338,978	△ 5,013,297	
基本金取崩額		0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 5,552,046	△ 5,338,978	
(参考)				
事業活動収入計		1,676,566	1,868,161	
事業活動支出計		1,844,704	1,952,544	